

立ち読み版



私たちが
つくって
います。

企業内

職人図鑑

4 伝統工芸品

こどもくらぶ／編



同友館

はじめに

◎ 日本人とものづくり

日本人は、古くから手仕事をうやまい、職人の技術のみがきあげることで独自の文化をさずいてきました。明治維新以降も、西洋からの新しい技術を取り入れることで、世界有数の「ものづくりの国」となりました。

◎ 次世代へ受けつぐ、たいせつな財産

資源にとほしい日本で、明治以降の近代化を可能にし、昭和の敗戦のあとに復興をとげて高度経済成長時代をむかえることができたのも、“ものづくりの遺伝子”の力によるものです。このことは日本人がほかれる、たいせつな長所です。いくつもの世代をこえて伝えられてきた職人魂を次の世代へとつなげていくことは、いまを生きる私たちの役割です。

◎ 職人たちの仕事を知る

このシリーズでは、現代にあっても、ものづくりの心を失わず、日々、より良いものをつくらうとしている会社と、そこで働く人たちの仕事を伝えています。日ごろ何気なくつかっている品物が、どうやって生みだされているかを知ることができます。一人ひとりの仕事が社会とどう結びついているかに気づくことは、読者のみなさんが将来の職業を考える上でもきつと参考になることでしょう。



なお、このシリーズは、次のような6巻構成になっています。

1巻 スポーツ用品 2巻 楽器 3巻 食の周辺で

4巻 伝統工芸品 5巻 衣類・かばん 6巻 伝統食品

はじめに

はじめに 2

この本の使い方 4

私たちがつくっています・伝統工芸品 ①

世界にほこる伝統工芸品となった江戸切子

江戸切子の店 華硝 5

職人ファイル 泉水 麻美さん (江戸切子の店 華硝 工房) 12



私たちがつくっています・伝統工芸品 ②

日本人の美意識をいまに伝える江戸小紋

廣瀬染工場 13

職人ファイル 廣瀬 雄一さん (廣瀬染工場 西代自) 20



私たちがつくっています・伝統工芸品 ③

人形をとおして日本の伝統文化を守り育てる

東玉 21

職人ファイル 齋藤 由香利さん (東玉 木自込工房) 28



私たちがつくっています・伝統工芸品 ④

古くからの伝統の技を今日に受けつぐ岩谷堂単筒

岩谷堂ダンス製作所 29

職人ファイル 菊地 裕一さん (岩谷堂ダンス製作所 木工部門) 36



もっと見てみよう、伝統工芸品と職人の技 37

有田焼/型紙

さくいん 39

立ち読み版

この本の使い方

この本では、身近なものや、知られざる名品、すぐれた品などをとりあげ、それをつくっている人たち、その会社を紹介しています。

2・3ページ目



どんなものをつくっているの?
とりあげた会社がつくっているものすごいところや、特徴などを具体的に紹介します。

ワンポイント
文中に出てくるキーワードや、知っておきたい重要な用語について解説しています。

6・7ページ目



もっと見てみよう
とりあげた会社が、どういものづくりをしているのかなどを具体的に紹介します。

ものづくりの極意
会社の創業からこれまでの歴史をふりかえり、ものづくりへのこだわりを見ていきます。

1ページ目



その会社がつくっている製品です。

紹介されている会社の所在地、創立年、従業員数です。

4・5ページ目



どんな仕事場?

とりあげた製品が、どんなところで、どんなふうにつくられているのかを写真とイラストで紹介しています。

8ページ目



職人ファイル

とりあげた会社の社員の方に登場していただき、入社のお機嫌や仕事へのやりがいなどをインタビューしています。写真は、インタビューにこたえてくださった本人です。

●●さんの1日

ふだん、どんなふうの仕事をしているのか。ある1日を例にとって、時間を追って見ていきます。

立ち読み版

私たちがつくっています・伝統工芸品 ①

世界にほこる伝統工芸品と なった江戸切子

江戸切子は、グラインダーという研削盤*を使い、ガラスの表面にさまざまな紋様を切り出す技法により、江戸時代後期からつくられている伝統工芸品です。あくまでも手仕事にこだわり、世界にひとつしかない江戸切子をつくりつづけている会社があります。



江戸切子の店 華硝

- 所在地 / 東京都江東区
- 創業 / 1946 (昭和21)年
- 従業員数 / 10人



繊細で美しい紋様がほどこされた、江戸切子の製品。

* 金属や砥石などでできた円盤を回転させ、ものをけすったり磨いたりする工作機械。

⇒続きは書籍で